



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
 コード番号 3900 URL https://crowdworks.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 浩一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 月井 貴紹 (TEL) 03(6450)2926
 半期報告書提出予定日 2026年5月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)※	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	11,116	△0.7	4,633	△2.1	218	△72.5	495	△58.1
2025年9月期中間期	11,199	37.9	4,733	28.5	793	14.1	1,181	37.0

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 99百万円 (△68.0%) 2025年9月期中間期 310百万円 (△41.1%)

	経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益		1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	285	△63.3	89	△70.4	5.68	5.66
2025年9月期中間期	777	2.2	303	△36.5	19.22	19.07

※EBITDA (Non-GAAP) は、財務会計上の数値 (GAAP、日本基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	14,977	6,859	6,859	43.3	
2025年9月期	15,690	6,746	6,746	40.7	

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 6,478百万円 2025年9月期 6,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	20,000	△11.7	8,400	△12.2	△1,000 ～0	—	△350 ～650	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 一、除外 2社 (社名) 株式会社CLOCK・IT、株式会社AI tech

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期中間期	15,829,659株	2025年9月期	15,795,959株
2026年9月期中間期	185株	2025年9月期	185株
2026年9月期中間期	15,816,522株	2025年9月期中間期	15,785,282株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用環境の改善や人手不足を背景とした賃上げの進展により、個人消費やサービス業を中心に持ち直しの動きが見られるとともに、企業においてはデジタル化や省力化に向けた投資の拡大も継続し、総じて緩やかな回復基調を維持しました。一方で、物価の上昇や金融資本市場の変動に加え、中東情勢や米国の通商政策を巡る動向等の影響もあり、企業を取り巻く経営環境の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

労働市場においては、構造的な人手不足の深刻化と賃上げの進展を背景とした人材獲得競争の激化により、企業における人材確保は引き続き重要な経営課題となっています。このような状況のもと、企業では業務効率化・生産性向上の取り組みが加速しており、DXやAXの推進に加え、外部人材の活用や業務プロセスのアウトソーシング、業務の自動化を組み合わせた柔軟な業務運営の実現に向けたニーズが高まっています。その結果、エンジニア市場においてはAIやデータを活用した設計・分析・運用等の高度なスキルを有する人材への需要が拡大しています。一方で、定型業務においてもAIの活用が進展しており、エンジニアに求められるスキルの高度化・専門化が進んでいます。

また、個人においては、雇用慣行の変化を背景に、自律的なキャリア選択やライフステージに応じた多様な働き方へのニーズが高まっています。一方で、企業側ではチーム連携やコミュニケーションを重視する観点からオフィス回帰が加速しており、個人と企業の双方にとって最適な働き方を模索する局面にあります。

このような社会・経済環境のもと、当社グループは「個のためのインフラになる」をミッション、「人とテクノロジーが調和する未来を創り、個の幸せと社会の発展に貢献する」をビジョンとして掲げ、フリーランス人材を中心とした人材マッチングサービス及び企業の生産性を向上するDX・AIソリューションを展開しています。2026年3月末時点で登録ユーザー数は778.7万人(前年同期比+73.6万人)、登録クライアント数は110.4万社(前年同期比+6.7万社)となりました。今後も既存事業の成長並びにDXコンサル事業の拡大、さらに企業におけるAI活用の支援強化に引き続き注力してまいります。

既存事業の軸であるマッチング事業においては、企業におけるAI活用の進展に伴い変化する人材ニーズを捉え、コンサルティングを通じた付加価値の高いサービス提供により、1社あたりの契約単価向上に向けた取り組みを進めております。また、企業のDXニーズへの対応を強化するため、2025年に発足した新会社クラウドワークスコンサルティングを中心に、グループ全体での事業成長に取り組んでおります。当中間連結会計期間においては、DXコンサルの推進に向けた人材投資を進めるとともに、企業におけるAI導入・活用の進展に伴い急速に高まる業務プロセスの自動化ニーズを背景に、業務効率化を支援する新たなサービス(AI-BPO)の開発・提供に向けた取り組みを推進しています。今後も中堅・中小企業を対象に「DXコンサルの民主化」の実現に向け、顧客基盤の拡大に取り組んでまいります。

ビジネス向けSaaS事業においては、大企業や成長企業を中心に、従業員の工数を可視化する生産性向上SaaS「クラウドログ」の導入が進んでいます。また、「クラウドログ」により取得した工数データを活用し、経営課題の把握や業務効率改善に向けた提案を行うとともに、正社員コンサルタントおよびフリーランス人材を活用したコンサルティング、開発、RPA導入等を通じたDX支援にも取り組んでおります。

以上の結果、当中間連結会計期間の当社グループの業績は、売上高11,116,411千円(前年同期比0.7%減)、売上総利益は4,633,444千円(前年同期比2.1%減)、営業利益は218,095千円(前年同期比72.5%減)、EBITDA(Non-GAAP)は495,309千円(前年同期比58.1%減)、経常利益は285,776千円(前年同期比63.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は89,776千円(前年同期比70.4%減)となりました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

売上高は10,535,633千円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益は285,300千円(前年同期比65.3%減)となりました。

② ビジネス向けSaaS事業

売上高は496,946千円(前年同期比7.6%減)、セグメント損失は68,930千円(前年同期のセグメント利益は6,637千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は14,977,435千円となり、対前期末比で713,355千円減少いたしました。流動資産は対前期末比で1,041,728千円の減少となり、その主な内訳は、現金及び預金が895,337千円、未収入金が115,552千円減少したものであります。固定資産は対前期末比で328,372千円の増加となり、その主な内訳は、のれんが81,056千円減少したものの、有形固定資産が455,858千円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は8,118,409千円となり、対前期末比で826,317千円減少いたしました。流動負債は対前期末比で663,681千円の減少となり、その主な内訳は、未払法人税等が372,686千円、契約負債が152,255千円、預り金が131,034千円減少したものであります。固定負債は対前期末比で162,636千円の減少となり、その主な内訳は、長期借入金が282,200千円減少したものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は6,859,025千円となり、対前期末比で112,962千円増加いたしました。その主な内訳は、親会社株主に帰属する中間純利益89,776千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,090,366	7,195,028
売掛金及び契約資産	2,148,181	2,190,062
未収入金	832,477	716,924
その他	436,561	373,315
貸倒引当金	△21,376	△30,850
流動資産合計	11,486,209	10,444,481
固定資産		
有形固定資産	19,913	475,771
無形固定資産		
のれん	3,232,290	3,151,234
その他	1,379	986
無形固定資産合計	3,233,670	3,152,220
投資その他の資産		
その他	961,440	916,396
貸倒引当金	△10,441	△11,434
投資その他の資産合計	950,998	904,962
固定資産合計	4,204,581	4,532,954
資産合計	15,690,790	14,977,435
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	597,062	595,731
未払金	1,715,252	1,942,594
未払法人税等	577,786	205,100
契約負債	526,152	373,897
預り金	1,278,075	1,147,040
その他	898,745	665,029
流動負債合計	5,593,074	4,929,392
固定負債		
長期借入金	3,315,071	3,032,871
その他	36,581	156,145
固定負債合計	3,351,653	3,189,016
負債合計	8,944,727	8,118,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,803,168	2,814,351
資本剰余金	2,907,611	2,918,793
利益剰余金	624,970	714,746
自己株式	△262	△262
株主資本合計	6,335,487	6,447,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,566	30,787
その他の包括利益累計額合計	45,566	30,787
新株予約権	213,087	204,444
非支配株主持分	151,922	176,164
純資産合計	6,746,063	6,859,025
負債純資産合計	15,690,790	14,977,435

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	11,199,766	11,116,411
売上原価	6,466,005	6,482,967
売上総利益	4,733,760	4,633,444
販売費及び一般管理費	3,940,261	4,415,348
営業利益	793,498	218,095
営業外収益		
預り金失効益	35,336	39,252
保険解約返戻金	23,834	—
為替差益	7,181	23,590
その他	9,713	39,344
営業外収益合計	76,066	102,187
営業外費用		
支払利息	27,085	25,659
持分法による投資損失	16,870	—
支払手数料	37,968	—
出資金運用損	6,676	7,944
その他	3,248	902
営業外費用合計	91,850	34,506
経常利益	777,714	285,776
特別利益		
新株予約権戻入益	778	—
特別利益合計	778	—
税金等調整前中間純利益	778,492	285,776
法人税等	456,381	171,759
中間純利益	322,110	114,017
非支配株主に帰属する中間純利益	18,766	24,241
親会社株主に帰属する中間純利益	303,344	89,776

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	322,110	114,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,790	△14,778
その他の包括利益合計	△11,790	△14,778
中間包括利益	310,320	99,239
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	291,554	74,997
非支配株主に係る中間包括利益	18,766	24,241

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	778,492	285,776
減価償却費	41,683	41,507
のれん償却額	274,644	236,056
株式報酬費用	72,316	—
持分法による投資損益(△は益)	16,870	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,233	10,466
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△50,889	△41,881
未収入金の増減額(△は増加)	△26,676	115,552
未払金の増減額(△は減少)	25,998	72,342
契約負債の増減額(△は減少)	△56,466	△152,255
預り金の増減額(△は減少)	34,739	△131,034
その他	△127,259	△169,395
小計	986,688	267,133
利息及び配当金の受取額	3,110	7,116
利息の支払額	△27,085	△25,659
法人税等の支払額	△341,787	△535,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	620,926	△286,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△373,565
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,347,185	—
敷金の回収による収入	—	116,600
その他	△134,282	△130,788
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,481,467	△387,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,485,000	—
長期借入金の返済による支出	△290,681	△283,531
株式の発行による収入	26,313	13,722
配当金の支払額	△283,561	—
その他	△5,025	△5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,932,045	△274,808
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,071,504	△949,372
現金及び現金同等物の期首残高	6,114,835	8,282,371
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,186,339	7,332,998

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,057,169	9,850	1,067,019	47,376	—	1,114,395
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	9,541,068	528,102	10,069,170	16,200	—	10,085,370
顧客との契約から生じる収益	10,598,237	537,952	11,136,190	63,576	—	11,199,766
その他の収益	—	—	—	—	—	—
(1) 外部顧客への売上高	10,598,237	537,952	11,136,190	63,576	—	11,199,766
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,433	315	2,748	—	△2,748	—
計	10,600,671	538,267	11,138,938	63,576	△2,748	11,199,766
セグメント利益又は損失(△)	821,002	6,637	827,639	△34,141	—	793,498

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社インゲートの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては1,574,102千円であります。

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社CLOCK・ITの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては1,001,831千円であります。

当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	868,787	700	869,487	73,932	—	943,419
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	9,666,845	496,246	10,163,092	9,900	—	10,172,992
顧客との契約から生じる収益	10,535,633	496,946	11,032,579	83,832	—	11,116,411
その他の収益	—	—	—	—	—	—
(1) 外部顧客への売上高	10,535,633	496,946	11,032,579	83,832	—	11,116,411
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	425	52	478	—	△478	—
計	10,536,058	496,999	11,033,058	83,832	△478	11,116,411
セグメント利益又は損失(△)	285,300	△68,930	216,370	1,725	—	218,095

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、2023年10月に行われた株式会社ユウクリの株式取得における条件付取得対価の発生に伴い、のれんを追加的に計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては155,000千円であります。